

令和6年度事業報告

(公財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会

1 献眼登録管理事業

角膜移植を推進するため、眼球を提供いただける方533名の登録を行い、アイバンク登録票を発行した。

2 角膜移植に伴うあっせん・臓器提供に係る調整事業

(1) 角膜のあっせん業務

ライオンズクラブ（献眼委員・アイバンクサポーター）、医療機関（摘出医、主治医、院内コーディネーター）、信大医学部（眼科医教室）、検査機関等連携のもと、角膜のあっせんを行った。

献眼者 8名 角膜あっせん数 19件

(2) 角膜移植の推進体制の充実

ア 眼球摘出セットの貸与・配置

医療機関に貸与のほか、3ライオンズクラブ（松本深志、飯田、佐久）に配置。

イ 眼球搬送箱の管理

眼球搬送箱の設置個所について、ライオンズクラブ等の関係機関と協議・調整の上、従前の42箇所から27箇所に集約した。

(3) 臓器提供あっせん調整業務

ア 長野県内の病院（8月下旬）

脳死下臓器提供、ご家族承諾あり

ドナー年齢・性別：22歳、男性

原疾患：重症頭部外傷

イ 県外病院での支援4件

(4) 臓器移植医療の医療機関への体制支援

- ・信州大学医学部附属病院院内コーディネーター定例会議への参加（毎月1回）
- ・こども病院臓器移植院内研修会（7月1日）
- ・飯田市立病院心停止後臓器提供シミュレーション（8月29日）
- ・諏訪赤十字病院臓器提供シミュレーション（12月26日）等

3 臓器移植啓発普及事業

(1) 献眼をはじめ臓器移植に対する理解を深めるため、長野県臓器移植推進協議会（事務局：アイバンク協会）で10月の「臓器移植普及推進月間」に合わせて次の事業を実施した。

- ・ライトアップ 松本城（10月14日～15日）、善光寺（10月15日）
- ・街頭啓発（10月19日） JR長野駅東口2階デッキ～新幹線口前
- ・臓器移植の理解と臓器提供意思表示の普及啓発を目的としたテレビCM協賛 210×5本 を放送

(2) 表彰等（敬称略）

ア 理事長の感謝状贈呈

- ・献眼者（ご遺族） 7名
- ・献眼業務を的確に処理されたライオンズクラブ等
中村吉秀 様（長野りんどうライオンズクラブ）
茅野ライオンズクラブ
駒ヶ根ライオンズクラブ
長野篠ノ井ライオンズクラブ
東御ライオンズクラブ
上田城南ライオンズクラブ
小諸ライオンズクラブ
- ・多額の寄付をした団体
ライオンズクラブ国際協会334-E地区

イ 摘出協力病院への礼状

ウ 献眼者家族への礼状

(3) 関係諸団体との情報交換

（公財）日本アイバンク協会、（公社）日本臓器移植ネットワーク、都道府県臓器移植推進組織協議会などの会議等に参加した。